

4 都市交通政策の方向性の検討

4-1 都市交通シナリオの比較検討

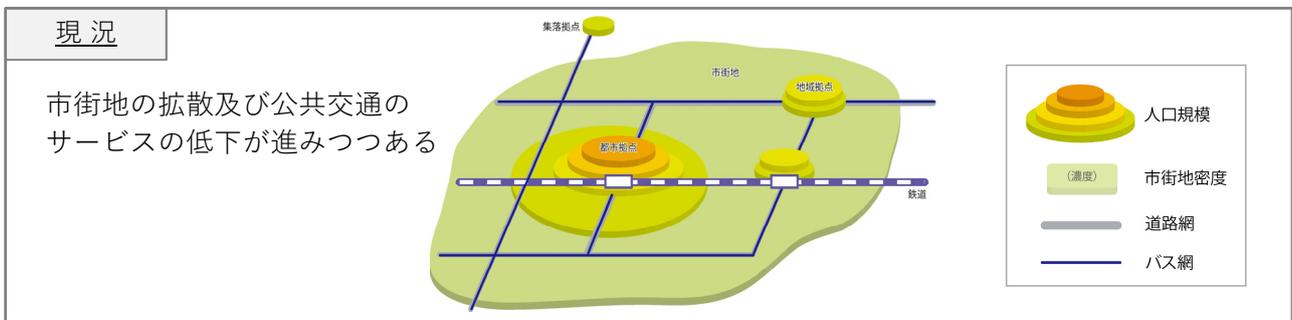
(1) 検討の趣旨

- 計画課題の解決に向けた交通体系の基本方針の設定に向け、都市交通政策の大きな方向性を判断することを目的に、比較シナリオを設定し「コンパクト+ネットワーク」の推進が本都市圏にどれだけ有効かを確認しました。

(2) 比較シナリオの基本的な考え方

- シナリオの構成要素は都市構造（人口配置）と交通施策（幹線系）の2つが中心
- 計画実現のレベルより、極端なシナリオとすることで施策感度を適切に把握
- 人口配置シナリオは「拡散型都市構造（現況推移型）」と「拠点集約型都市構造」の2パターン
- 交通施策シナリオは「道路整備重視型」と「公共交通サービス集中型」の2パターン
- 歩行者系や観光交通計画については、需要予測モデルに反映できないことに留意

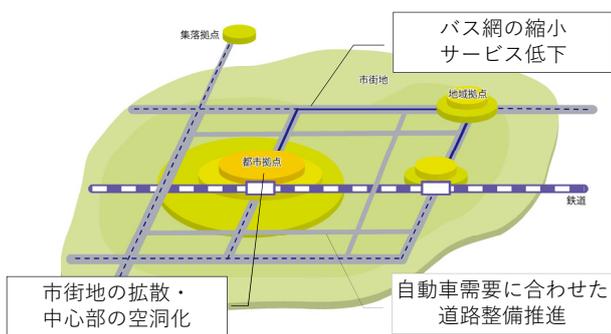
【比較シナリオ】



シナリオ①

低密度な居住環境と高い自動車依存に対応する道路整備を推進

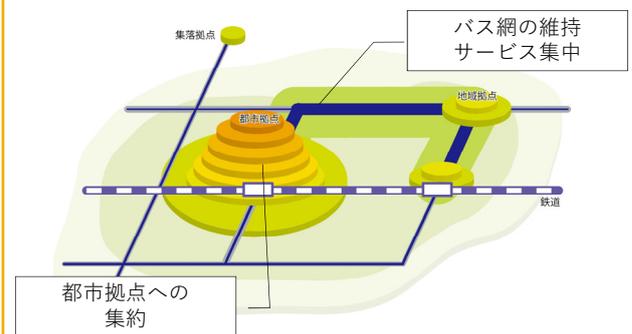
- 都市構造：現況推移型都市構造
- 交通施策：道路整備重視型
- フルネット型道路整備+公共交通網の縮小・サービス低下



シナリオ②

都心部への人口集約に合わせて公共交通サービスの集中強化を推進

- 都市構造：拠点集約型都市構造
- 交通施策：公共交通サービス重視型
- 事業化ネット型道路整備+公共交通網の維持・サービス低下



(3) 評価指標の設定

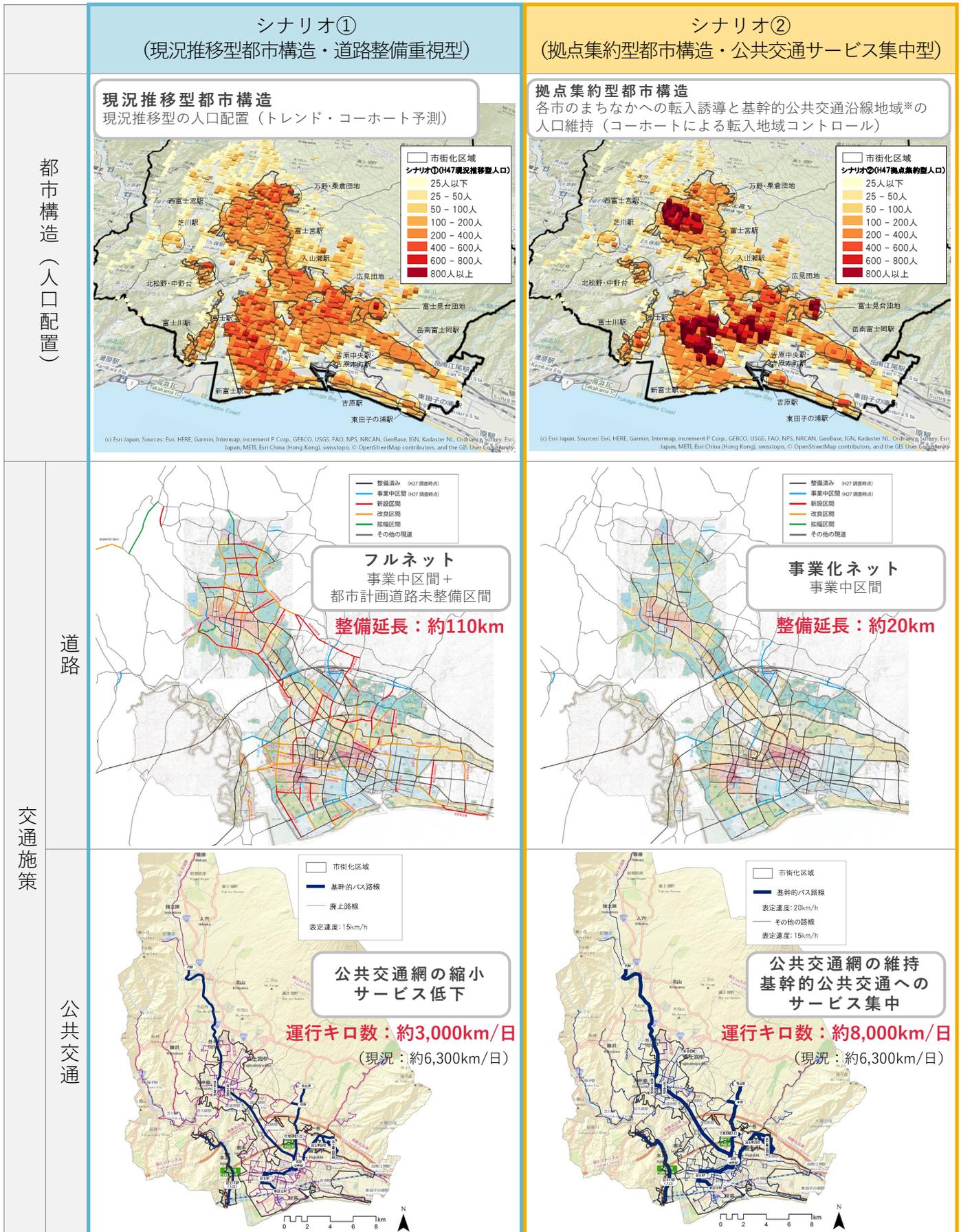
- 各シナリオにおける交通状況（混雑度、アクセス等）を評価するため、経済面、社会面、環境面から評価指標を設定しました。

経済面 | 都市活力の向上、中心部の拠点強化、都市運営の効率化

社会面 | 移動手段の確保、安全・安心な交通体系の確立

環境面 | 環境にやさしい交通行動の実現

【比較シナリオの設定条件】



※基幹的公共交通沿線地域：鉄道駅800m圏内または日30本以上 (概ねピーク時片側3本以上) のバス路線沿線300m圏内の地域 (参考：国土交通省「都市構造の評価に関するハンドブック」)

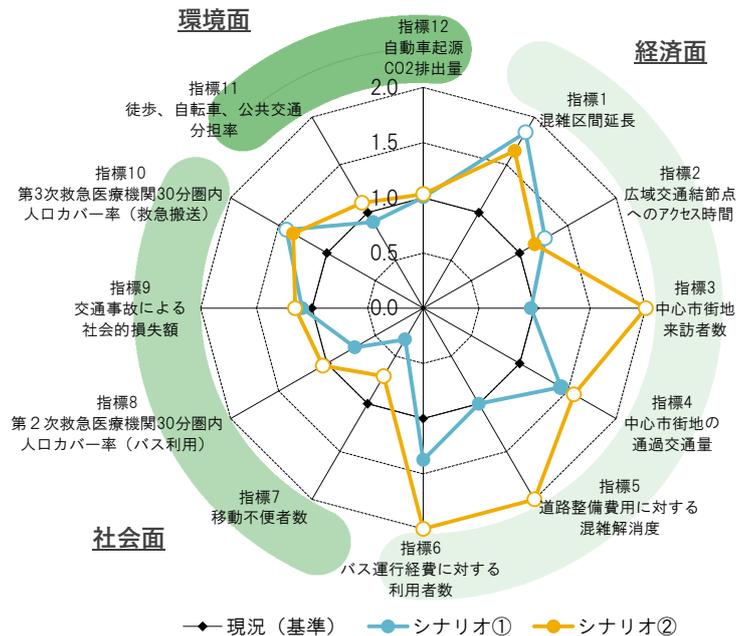
4-2 都市交通政策の大きな方向性

(1) シナリオの比較結果

- 多くの指標でシナリオ②の方が優れる
- 指標1(混雑区間延長)や指標2(広域交通結節点へのアクセス時間)、指標10(救急搬送カバー率)など、都市圏内外の交流・連携に関する指標はシナリオ①の方が優れる
- 指標7(移動不便解消)はシナリオ①②ともに現況より悪化する



シナリオ②を基本に足りない部分の補完を図る



(2) 計画課題に対する考察

① 集約型都市構造に向けたまちづくり施策との連携強化と具体施策の提案

- ・シナリオ②のような拠点や公共交通沿線地域への人口集約は、効率的、効果的な施策の検討が可能

② 過度な自動車依存型の交通体系からの脱却と環境に優しい交通行動への誘導

- ・シナリオ②のように集約型都市構造と公共交通を重視したまちづくりへの転換は、過度な自動車依存からの脱却に向けた一定の効果が確認
- ・加えて、交通事業者と行政が一体となって公共交通への誘導方策を実施することで、更なる効果が期待

③ 南北交通を軸とした都市・地域間連携の強化と円滑な道路交通体系の実現

- ・シナリオ②では南北幹線軸の一部区間や市街地周辺において混雑が残存しており、円滑な道路交通体系の実現のためには事業化路線に加え、新たな道路整備が必要

④ 高齢者が安全・快適に暮らせる道路交通環境の確保と地域公共交通体系の拡充

- ・シナリオ②のように自動車から公共交通への転換が進めば交通事故が減少
- ・集約地域などにおいて、ハードとソフト両面による効率的な事故対策を実施することで、更なる効果が期待
- ・シナリオ②においても現況より移動不便者が増加することが確認され、デマンド型交通等の応用・展開が必要

⑤ 富士山観光を中心とした広域交流の活性化と中心市街地を巻き込む仕掛けづくり

- ・更なる広域交流の活性化にはシナリオ②(事業化路線)以上の道路整備が必要
- ・シナリオ②のような中心市街地への多様な手段利用の促進は、まちなかのにぎわい向上や観光の拡大・連携にも寄与

⑥ 実効性の高い都市交通戦略の充実

- ・多くの指標で優れるシナリオ②でも、実現のためには長期間が必要
- ・加えて、シナリオ②においても指標7など現状よりも悪くなる状況が懸念
- ・時間的、財政的な制約があるなか、本都市圏が抱える課題に対応した実効性の高い施策展開が必要

(3) 都市交通政策の大きな方向性

- 集約型都市構造とそれを支える公共交通サービスを基本とする
- 都市圏内外の交流・連携を促進する道路ネットワークの構築を図る
- 地域の交通特性に応じた移手段の確保を図る